

湘北短期大学 高大連携通信 Vol.10

平成27年
9月9日(水)発行
湘北短期大学
リベラルアーツセンター
E-mail: LAC@shohoku.ac.jp
TEL: 046-247-3131
FAX: 046-247-3667

高大連携教育研究会の報告

リベラルアーツセンター長 岩崎敏之

日時 平成27年8月3日(月)

15時~17時

会場 湘北短期大学図書館

オープンスペース

テーマ 「アクティブラーニングの定義
について考える」

概要

今回で第5回目となる高大連携教育研究会を実施しました。アクティブラーニングの授業方法について意見交換を行い、その定義について考えました。

連携高校7校から7名、湘北短期大学からリベラルアーツセンターのメンバーを中心に10名の教職員が参加しました。



湘北ナビットくん

アクティブラーニングの授業の実践例を映像で紹介したあと、3、4名ずつでテーブルごとに意見交換をして、それぞれのテーブルでの話し合いの内容を全員で共有しました。

休憩時間をはさんで湘北短期大学のリベラルアーツ科目である「情報リテラシー」での取り組み事例を紹介したあと、再びまとめの話し合いをテーブルごとに行い、最後に全員での意見を交換しました。

終了時に振り返りの内容をシートに記入いただき、回収しました。そのシートの記載内容の一部を紹介します。

※【】内の項目は、整理する上で加えました。また、アクティブとラーニングの間に・を入れるかどうかについては、ここでは・入れない標記でそろえることとしました。

【アクティブラーニングについて考えていくべきこと】

- ◎「アクティブラーニング」型授業について、今、コトバだけが先行し、アクティブラーニングの本質が置き去りにされていることが少なくないように思います。「なんちゃってアクティブラーニング」ではなく、アクティブラーニング型授業を行おうとするなら、目標を明確にした上で、一人ひとりが、より進化・深化させていくことが重要だと考えています。
- ◎クラスサイズ、時間、知識の定着などを考えると、計画的にアクティブラーニングを取り入れる必要がある。いつでもアクティブラーニングというのではなく、今までの積み重ねを生かしつつ、学生、生徒が協力して物を考え、「コミュニケーションを取りながら発表するところまでつなげたい。

【今回の研究会について】

- ◎他の先生方と「手探り感」を共有でき、勇気づけられた。
- ◎アクティブラーニングについての疑問を他教科の先生も交えて共有し、話し合いをすることで、アクティブラーニングについての理解が深まった。アクティブラーニングについての実践例をいくつか知ることができ、授業に取り入れてみようと思った。
- ◎他の高校での実践例を意見交換できて面白かった。
- ◎他校の先生方の取り組みなどを聞くことで、自らの授業への取り組み方を振り返る機会となりました。
- ◎なかなか答の見えない問題で難しいが、問題点を整理できたかもしれない。
- ◎他の研修では得られない、アクティブラーニングの本質が見えてきたような気がします。
- ◎この会がアクティブラーニングでした。どう取り組みればいいのか悩んでいたのが、参考になりました。

(裏面に続く)



(了)

今回はテーブルごとで話し合っており、全体で意見を共有してという形を取り、この会そのものがアクティブラーニング型であるとの意見が複数ありました。一つの答えを見出すことを目標にしていませんでしたが、参加者それぞれが普段から持っている問題意識や互いの実践例を共有しあうことで、今後の活動に有用な知見が得られる場となったように感じられました。

今回の第6回目は来年の2月9日(火)に開催する予定です。引き続き、アクティブラーニングを主たるテーマとし、評価方法についての意見交換などが行えれば良いかと考えております。この9月より図書館においてアクティブラーニングスペースを新設しましたので、次回はその場を会場とする予定しております。

一日体験授業の報告

7月14日(火)、今年も連携校である川崎総合科学高校 情報工学科の2年生38名が情報メディア学科の一日をフル体験しました。

本厚木発10時スクールバスに乗り込んで大学に到着、湘北短大と学科の説明を受けたあと、11時より実際に行われている授業「3Dコンピュータグラフィックス」を受講しました。キャンパスレストランで昼食をとり、学内施設と「メディア論」「コンピュータグラフィックスII」の授業を見学し、約1時間の特別授業「次世代のICT技術」(中村亮太講師)を受けて15時のバスで帰路につきました。

受講生からは「さまざまな施設や授業を体験・見学できたので、大学の雰囲気や特徴を知ることができた」、「特別授業が自分にとって興味深い事ばかりで、とても面白かった。ICTの進化は著しいものだと感じた」など、多くの受講生から「有意義な一日だった」との声が聞かれました。

今年で4年目となる「一日体験授業」、進路を考え始める高2の時期に、クラス単位で体験されることをお勧めします。



↑ 特別授業の授業風景。人間の手と指の動きでコンピューターを操作する。

前期出張授業の報告

今年度前期に本学教員が連携校で行なった「出張授業」について、ご報告いたします。

6月22日(月) 舞岡高校 2学年対象
テーマ 「からだを使ったおもしろ表現あそび」

保育学科 小笠原大輔

小笠原講師の講座には24名が参加し、からだを使った表現について、実際に体を動かして楽しみながら学びました。参加した生徒からは「からだを使った遊びの楽しさを実感することができました。子どもはどんな事をすると楽しめるかも学ぶことができてとても良い体験ができました。」などの感想が寄せられました。

授業公開デーのご案内

次の日程で、湘北短期大学の授業科目・施設を公開します。この日に行われている全ての授業(2限〜4限)を自由に見学することができます。アクティブラーニングの授業展開を実際にご覧いただける機会です。また、図書館内に9月に新設されたアクティブラーニングスペースも是非ご覧ください。

10月12日(月) 11時〜16時30分
(入退場自由)

【問い合わせ先】

湘北短期大学 入試事務局

E-mail: nyushi@shohokku.ac.jp

TEL: 046-247-3131

FAX: 046-247-3667

